

WHO ファクトシート

飲料水

Drinking-water

2016 年 11 月

重要な事実

- ・2015 年、世界人口の 91%が安全な飲料水の供給源にアクセスできている。1990 年当時は 76%であった。
- ・1990 年以降 26 億人が安全な飲料水供給源へのアクセスを獲得した。
- ・現在 42 億人が水道配管により水の供給を受けられ、24 億人が公共の蛇口や保全された井戸・掘削孔などその他の改良された水源より水を得ている。
- ・6 億 6300 万人は未改良の水源に依存しており、その内 1 億 5900 万人は地表の水に頼っている。
- ・世界的には、18 億人が糞便に汚染された飲料水源を利用している。
- ・汚染された水は、下痢症、コレラ、赤痢、腸チフスやポリオなどの疾病の感染源となりうる。汚染された飲料水により毎年 50 万 2000 人以上が下痢性疾患を起こし死亡していると推計される。
- ・2025 年までに、世界人口の半分以上が水資源が逼迫する地域に住むことになる予測される。
- ・低・中所得国では、保健医療施設の 38%に水の供給源がなく、19%に改良された衛生設備がなく、35%で手洗いの水や石鹼に不足している。

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Drinking-water

ファクトシート原文は [こちら](#)